

# 荒尾市議会傍聴規則

平成 7 年 3 月 23 日  
議会規則第 1 号

改正 平成 13 年 10 月 1 日議会規則第 2 号

荒尾市議会傍聴人取締規則(昭和 30 年荒尾市議会規則第 1 号)の全部を改正する。

(趣旨)

**第 1 条** この規則は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 130 条第 3 項の規定に基づき、傍聴に関し必要な事項を定めるものとする。

(傍聴席の区分)

**第 2 条** 傍聴席は、一般席及び報道関係者席に分ける。

(傍聴人の定員)

**第 3 条** 一般席の傍聴人の定員は、80 人とする。

(傍聴券の交付)

**第 4 条** 本会議を傍聴しようとする者で、議長においてその必要を認めるときは、傍聴券の交付を受けなければならない。

(傍聴券)

**第 5 条** 傍聴券の種別は、一般傍聴券及び団体傍聴券とする。

2 傍聴券の交付を受けた者は、傍聴券に記載された日に限り傍聴することができる。

(傍聴券への記入)

**第 6 条** 傍聴券の交付を受けた者は、傍聴券に住所、氏名及び年齢を記入しなければならない。

(傍聴の制限)

**第 7 条** 議長は、必要があると認めるときは、傍聴人の数を制限することができる。

(議場への入場禁止)

**第 8 条** 傍聴人は、議場に入ることができない。

(傍聴席に入ることができない者)

**第 9 条** 次に該当する者は、傍聴席に入ることができない。

(1) 銃器、棒その他人に迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者

- (2) 張り紙、ビラ、掲示板、プラカード、旗、のぼりの類を携帯している者
- (3) はち巻、腕章、たすき、リボン、ゼッケン、ヘルメットの類を着用し、又は携帯している者
- (4) ラジオ、拡声器、無線機、マイク、録音機、映写機の類を携帯している者。ただし、第11条ただし書の規定により撮影し、又は録音することにつき、議長の許可を得た者を除く。
- (5) 笛、ラッパ、太鼓その他楽器の類を携帯している者
- (6) 酒気を帯びていると認められる者
- (7) 異様な服装をしている者
- (8) その他議事を妨害することを疑うに足りる顕著な事情が認められる者

2 議長は、必要と認めるときは、傍聴人に対し、係員に、前項第1号から第5号までに規定する物品を携帯しているか否かを質問させることができる。

3 議長は、前項の質問を受けた者がこれに応じないときは、その者の入場を禁止することができる。

4 児童及び乳幼児は、傍聴席に入ることができない。ただし、議長の許可を得た場合はこの限りでない。

(傍聴人の守るべき事項)

**第10条** 傍聴人は、傍聴席にあるときは、静粛を旨とし、次の事項を守らなければならない。

- (1) 議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (2) 談論し、放歌し、高笑し、その他騒ぎたてないこと。
- (3) はち巻、腕章、たすき、リボン、ゼッケン、ヘルメットの類を着用し、又は張り紙、旗の類を掲げる等示威的行為をしないこと。
- (4) 帽子、外とう、襟巻の類を着用しないこと。ただし、病気その他の理由により議長の許可を得たときはこの限りでない。
- (5) 飲食又は喫煙をしないこと。
- (6) みだりに席を離れないこと。
- (7) 不体裁な行為又は他人の迷惑となる行為をしないこと。
- (8) その他議場の秩序を乱し、又は議事の妨害となるような行為をしないこと。

(写真、映画等の撮影及び録音等の禁止)

**第 11 条** 傍聴人は、傍聴席において写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、特に議長の許可を得た者は、この限りでない。

(係員の指示)

**第 12 条** 傍聴人は、すべて係員の指示に従わなければならない。

(違反に対する措置)

**第 13 条** 傍聴人がこの規則に違反するときは、議長は、これを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

附則

この規則は、公布の日から施行する。

附則(平成 13 年 10 月 1 日議会規則第 2 号)

この規則は、公布の日から施行する。